テーマ 3

日常生活自立支援事業について

【テーマについて】

○日常生活自立支援事業とは？

- ・判断能力が十分でない方（高齢者や障がい者等）に対して、社会福祉協議会の専門員や生活支援員が福祉サービスの利用や金銭管理等の生活のサポート行う事業です。
- ・対象者の方の判断能力が低下し、契約締結能力がなくなった際には成年後見制度へ移行することもあります。

○新たな制度「新日常生活自立支援事業（新日自）」とは？

- ・現行の制度に対して、身寄りのない高齢者等も対象とすることや、死後事務等の支援など対象者や福祉サービスの拡充が検討されています。

○国や大阪府の動きは？

- ・現在、国の「地域共生社会の在り方検討会」においても、単身世帯の増加や地域の繋がりの希薄化が予測されることから支援策の検討が行われています。
- ・大阪府において、現行制度の見える化や新日自の課題に対して情報共有を行うワーキンググループが開催されており、吹田市も参加しています。
⇒今回の協議会でいただいた御意見をワーキンググループに提言させていただければと考えています。

対象者が身寄りのない高齢者等も対象となることや、多様な主体が参画することのメリット・デメリットについてどんなことが挙げられますか？

金銭管理や定期訪問による生活変化の察知することに加えて、入院・入所の円滑な手続支援や死後事務の支援などサービスが拡充されることのメリット・デメリットについてどんなことが挙げられますか？

キーワード：社会的孤立の防止、支援リソースの増加、担い手の監督と質の担保
利用者の自己決定権の侵害

◎参考資料

資料 2-3（別紙 6）日常生活自立支援事業の概要

資料 2-3（別紙 7）新たな事業（新日自事業（仮称））について

資料 2-3（別紙 8）日常生活自立支援事業の利用者数等の実績

2 議題 (2) 権利擁護に関する制度や施策の情報共有並びに地域課題の検討 (グループワーク)

テーマ3 日常生活自立支援事業について

【参考資料】資料2-3 (別紙6) 日常生活自立支援事業の概要
 資料2-3 (別紙7) 新たな事業 (新日自事業 (仮称)) について
 資料2-3 (別紙8) 日常生活自立支援事業の利用者数等の実績

トークテーマ

- ①対象者が身寄りのない高齢者等も対象となることや、多様な主体が参画することの
 メリット・デメリットについてどんなことが挙げられますか？
 ②金銭管理や定期訪問による生活変化の察知することに加えて、入院・入所の円滑な手続支援や
 死後事務の支援などサービスが拡充されることのメリット・デメリットについてどんなことが挙げられますか？

※本協議会でいただいた御意見を、大阪府のワーキンググループに提言させていただきたいと考えています。

キーワード

社会的孤立の防止 支援リソースの増加 担い手の監督と質の担保 利用者の自己決定権の侵害

御意見